

「患者から信頼されるインプラント治療の構築をめざして」

大阪口腔インプラント研究会からの提言

平成24年5月20日



I インプラント治療を行う歯科医への提言

インプラントを埋入した歯科医は、患者または自分が亡くなるまで、埋入したインプラントに対して、生涯責任を持つべきである。

インプラント治療は外科手術であることを十分認識し、患者にもその理解を得て施行せねばならない。インプラントを骨内に設置する行為は、『埋入手術』もしくは『植立手術』と定義される。一部の歯科医がインプラント埋入を『うつ』などと呼んでいるのを耳にするが、このような歯科医自身が、インプラント治療を軽んじる発言は、患者からの信頼を失墜させる原因になり、厳に慎むべきである。

インプラント手帳の活用

インプラント治療を受けた患者が、施術を受けた歯科医院以外の診療所を受診する際に、後医は埋入されたインプラント体やアバットメントの種類を特定することが困難なことがある。

このような場合に、インプラントの情報を患者自身が持っていれば、後医がその情報を知ることが容易である。

我々はインプラント治療の内容が記載された”インプラント手帳”を作成したが、患者自身がこれを保持することで、患者自身にとっても大きな安心となると考える。

多くの歯科医に使って頂きたいと思う。



II 大学教育機関への提言

インプラント教育の充実と臨床医の活用

インプラント治療は口腔外科学・補綴学・歯周病学など多分野に渡る知識と技術が必要である。大学における臨床は、各専門領域について深い知識と技術を有しているが、インプラント治療など多分野に跨る日常診療では技術、経験、長期経過への対応においては、一般開業医が勝る一面もある。

卒後の臨床研修期間のみならず、一般講義や学生実習においても一般開業医の臨床経験や技術も活用すべきと考える。



III 学会への提言

専門医制度の充実

各種学会はインプラント治療の知識と技術向上のために、様々な活動を行っている。今後は各種学会の専門性をより広く国民に知らせ、患者が専門分野の治療を安心して享受できるように、専門医制度の充実を期待する。

業者講習会の問題点の改善

業者によるインプラントの販売広告や講習会については稚拙な内容が多く、一部には学会専門医と偽った歯科医が講師をしているものもある。

業者によっては自社インプラント製品名をつけた認定医の認定書を配布し、歯科医もそれを広告に使用している場合がある。これらは、患者から見れば本当の専門医と見誤ってしまう“詐欺まがい”的行為であり、患者の信頼を失う一因となっている。

学会が販売業者を一定の条件で認定し、その情報を公開することで患者も安心を得ることが可能と考える。また業者が行う講演会への学会推薦講師の派遣、それら派遣講師の選任基準の作成なども今後は必要な対応と考える。



IV インプラント販売業者への提言

国内で使用されている各社のインプラントの形状や素材に対する優劣は、ほとんどないと考えられる。インプラント治療は歯科医師の資格と責任、そして良識によって行われる医療行為である。

現在、多くの販売業者で行われている短期間のインプラント講習会は、自社のインプラントの特徴と簡単な埋入術式の説明が中心である。これらは『インプラントの講習会』と呼称できる内容ではなく『材料説明会』と広告すべきである。

歯科医を講師として開催する場合には、講師となる歯科医の選任基準を明確にし、学会への届け出を行う事が理想と考える。また各社のインプラント名称に統けて『○○インプラント認定医』などとの呼称、『○○インプラント講習修了』など稚拙な講師紹介は行うべきでない。



V 患者さんに知って頂きたい事

セカンドオピニオンの勧め

インプラント治療は義歯やブリッジによる治療と違って、口の中の手術が必要になります。手術の程度は、患者さんの状態によって変わりますが、骨の中に埋まっている親知らずの歯を抜く程度の手術時間と術後の安静が必要です。

そのため、すべての歯科医ができる手術ではありません。

一定レベル以上の知識と技術がなければインプラント治療はできません。

インプラント治療を受ける時の歯科医や施設を選ぶ基準として、歯科医の経験・学会専門医・手術数・評判など多くの判断要素がありますが、絶対的な基準はありません。信頼できる歯科医と巡り合うためには、セカンドオピニオンをお勧めします。

セカンドオピニオンとは異なった診療施設を受診して、複数の歯科医の意見を聞くことです。治療方針は歯科医によって違うと思います。治疗方法や費用に大きな相違点がある場合、またご自身で納得できない場合には、さらに別の歯科医に相談して下さい。複数の施設への受診は、時間と費用がかかりますが、患者さんが治療内容に納得し、信頼できる歯科医の元で治療を進めて下さい。時間をかけて信頼できる歯科医を探すことも安心を得る一つの方法と考えています。